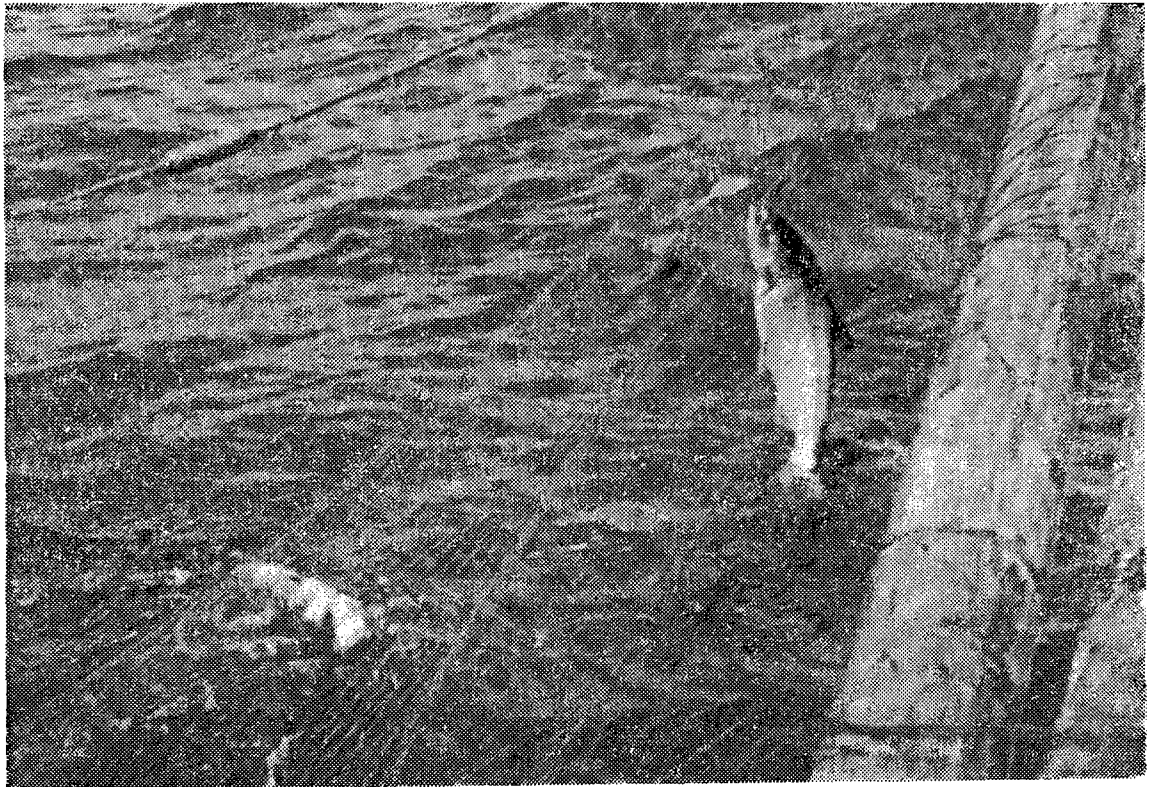


# 水拓

二月



兵庫県漁業協同組合連合会

第二卷

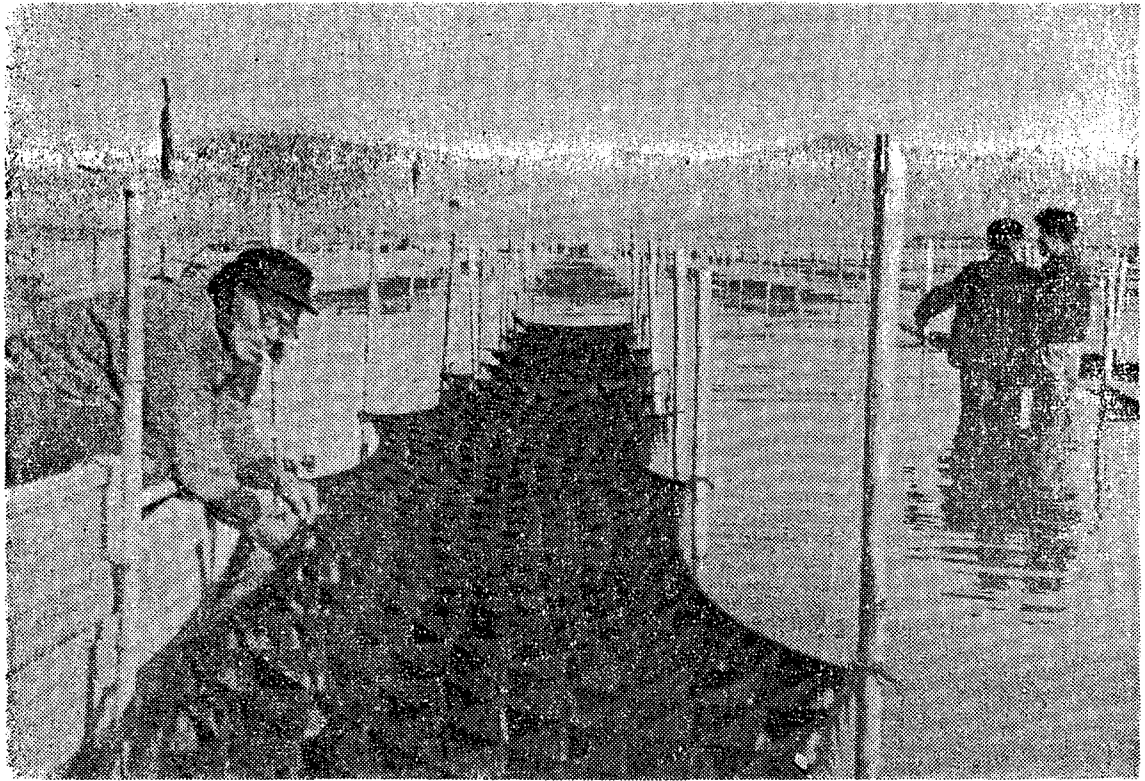
第七号

昭和三十三年二月十五日発行

(月刊毎

一回十五日発行)

一部十円



## のり

みごとにヒビに付着した「のり」はまるで着物の模様のように美しい。

雨、風、潮を心配し我が子のように気をくばって育ててきた「のり」

乾燥仕上までもう一息だ。

紫調を帯びた黒漆色、透視すると暗褐色を帯びた鉛色の光沢、焙ると黒調を帯びた青緑色になり、舌にのせると云うべからざる香味を感じ溶け去る「のり」の出来るのももうすぐだ。

## 目次

北洋サケ、マス

延縄漁業の出漁について……1

森本技師

インドネシヤ

水産情報第一号……4

生 産 係

林崎漁協

組合員の冬期就労

幹旋に乗出す……6

生 産 係

ラヂオ番号

……6

ニュース

……7

聞きある記

イカナゴ漁況の巻……7

# 北洋サケ・マス延縄漁業の出漁について

## 福井県における調査から

二月一日福井県水産課を訪ねたと

き、同県の御好意で昨年同県北洋漁業協同組合が組合自営で北緯四八度以南のさけます延縄漁業に出漁したときの資料を戴き、色々当時の情況やら将来の計画等について承つたので、その内から御参考になると思われるもの二、三について御紹介します。

福井県においても、沿岸漁業の窮乏は例外でなく、これが打開策の一つとして漸くその価値が認識されはじめた。北洋さけますの延縄漁業に着目し、昭和三十一年秋頃から諸調査をはじめると共に、出漁態勢の整備にとりかつた。果水産課においても係員を先進地たる青森、岩手、福島各県に派して、漁具漁法は勿論、その企業の採算性等を研究調査せしめた。そして全県下の組織として、福井県北洋漁業協同組合を設立しこれの自営漁業として五月十八日八隻の漁船を出漁せしめた。同時に小浜水高の練習船雲龍丸(三八屯、一〇五馬力)を調査、指導を兼ねて同行

させた。

この出漁成績については、次表のとおりであるが、これは、同漁協専務山下政治氏が、福井県漁連の機関誌「若越水産」第七八号(三十一年八月二十日号)に発表されているのでそれを拝借させて戴いたわけであるが、結果的には事業としては失敗しているが、今後此の種の事業を行うものにとつては問題点を包んでいるように思う。

- 漁期は大休五月から七月の三ヵ月間で、漁場としては別図にもあるとおり、北海道東岸及び南千島の沖合であり、多くの船が釧路港を根拠地として操業した。昭和三十一年の一般的な漁況海況については次のとおりで大休好条件の下にあつた。
- (1) 四年ぶりの豊漁型である。
  - (2) 魚群が非常に接岸している。これは小型船でも操業能率が上がり生ますで日帰出漁ができる。
  - (3) ガスが例年より少い。これは操業上又は航海上安全である。
  - (4) ブライン漁獲制限により魚価が

漁 獲 高 表

船 名	重	HP	ま		さ		そ の 他		計	
			数量(貫)	金額(円)	数量(貫)	金額(円)	数量(貫)	金額(円)	数量(貫)	金額(円)
城崎丸	20.96	焼 55	1,938.4	1,024,218	41.2	24,861	45.5	3,605	2,025.1	1,052,184
第一日吉丸	19.99	// 65	1,009.5	548,442	5.7	4,671			1,015.2	553,113
第五惠長丸	19.97	// 75	2,344.5	1,227,824	84.3	50,535	2.8	2,204	2,431.6	1,280,563
第二厚生丸	18.54	// 65	2,395.0	1,262,267	40.1	25,841	5.5	4,675	2,440.6	1,292,783
幸伸丸	16.03	// 65	735.7	359,369	1.2	768			736.9	360,137
八幡丸	24.05	// 75	1,739.2	918,878	11.8	7,109			1,751.0	925,987
第三光陽丸	26.15	// 75	1,591.3	837,289	15.6	9,376			1,606.9	846,665
大生丸	18.22	// 55	2,224.7	1,144,392	8.5	5,353	3.5	3,850	2,236.7	1,153,595
(練習船)雲龍丸	38	ディーゼル 105	572.2	396,326					572.2	396,326
計									14,816.2	7,771,353

市況の先高を見越して高価であつた。特に延縄による漁獲物は鮮度がよくて流網より貫当り百匁以上高値であつた。

以上のやうに全般的に非常に恵まれた環境にあつたにもかかわらず福井県の出漁船が前表のとおり甚だ香ばしからぬ結果に終つた原因については、関係者は次のように指摘されている。

- (1) 縄キヤメが思う様に涉らず、四五日操業すると使用する縄がなくなつて帰港しなければならぬ。しかもこれを整備して出航するまでに少くも四日位碇泊しなければならぬ。要するに漁具の仕立方及び整備が十分でなかつたため、折角の好機を見逃さざるを得なかつた。
- (2) 漁船が他県船に較べて小型であり、且つ方向探知機の装備もなかつたので時化に弱く、燃油、飲料水等の必需用品の積載に制約を受け充分な活動ができなかつた。
- (3) 餌料が他県船に較べて劣つていた。即ち当初大羽いわしでも漁獲があつたが、優秀な餌(片口いわし)を使用する船が多くなるとつれて餌料の優劣が判然と

1隻当り収支計画

収 入		
科 目	金 額	摘 要
漁獲物売上収入	3,099,000	1日100鉢 1鉢6尾5日操業 3,000尾 1尾250匁(塩藏)750匁 @ 500円 ¥ 375,000 8航海分
支 出		
科 目	金 額	摘 要
燃 料 費	264,200	重 油 15,000l @ 141 211,500 マシ ン 1,500l @ 33 49,500 軽 油 200l @ 26 3,200
漁 具 費	192,500	1鉢200 (幹紐及ナイロン補修) 250鉢 50,000 1鉢500 (新調) 100鉢 50,000 予備針 2,500
餌 料 費	147,000	1航海52.5貫 8航海 420貫 @ 350
食 料 費	117,000	1人月額 3,000 13人×3ヶ月
修 繕 費	39,000	初年度の実績に徴し計算
備 船 料	459,000	月額 150,000 3ヶ月
塩 代	198,400	1航海 40俵 @ 620 8航海
市場手数料	189,000	水揚の6分
雑 費	35,000	無線利用料、消耗材料費
計	1,524,100	
船 員 歩 合	816,480	水揚 (塩代+手数料) × 0.3 増産手当1%
差 引 利 益 金	659,420	

(4)

して来た。  
乗組員の生産意欲が一向に萎  
なかつた。即ち船が小さいから  
と称して時化が来ると勝手な行  
動をする者、漁獲物さては燃油  
等の横流しをやり出す者、作業  
を怠ける者等があつた。

このため前表の総漁獲金額は  
七十七万円余になつてゐるが、  
実際は一、〇〇〇万円を越えた  
ものと推測されてゐる。  
このことについても、同漁協組の  
指導者は次のように反省されてい  
る。即ち、このやうな事項が重なつ

て漁獲成績不振の要因となり、各船  
共直接経費さえも獲り得なかつたの  
であるが、これらは何れも人為的に  
改善する余地があり、物的な面は兎  
に角として乗組員の素質が良ければ  
心掛け一つで或程度の補いがつた  
ことと思う。漁場の遠近と漁船の関

係についても成漁期の六月中は沿岸  
二〇〇三〇裡に接岸したのであるか  
ら、鮮魚のまま日帰り操業ができた  
わけで、乗組員の努力次第ではもつ  
と能率を上げ得たであらうと残念に  
思つてゐる。  
しかし此の方面のさけます延縄漁

30 匁級の実績 (昭和39年5月~7月)

収 入		
科 目	金 額	摘 要
漁獲物売上収入	3,345,000	ます 一航海 10,000尾 2,500貫 (1尾塩藏250匁) @ 380 950,000 さけ 300尾 300貫 (1尾塩藏1貫) @ 550 165,000 計 10,300尾 2,800貫 1,115,000円 三航海 8,400貫
支 出		
科 目	金 額	摘 要
大 中 経 費	541,500	市場手数料5 (%) 139,500円 塩60俵 372,000円
船 員 歩 合	841,725	(水揚金-大中経費) × 30%
燃 料 費	292,500	1航海 4.5kl @ 15,000 3航海分
食 糧 費	126,000	1人月 3,000円 14人分 3ヶ月
漁 具 費	400,000	1鉢 1,000円 400鉢分
保 険 料	11,400	年間 45,600円の 3ヶ月分
餌 料 代	102,000	1航海 100貫 @ 340 3航海分
計	2,272,875	
差 引 利 益 金	1,072,125	

業の有産なことは以上の失敗にも拘らず確実視され、同漁協は勿論、県水産課においても大いに力を入れて今年の出漁準備を着々と進められている。即ち、昨年の経験から今年はこの点に留意して事業計画が練られているようである。

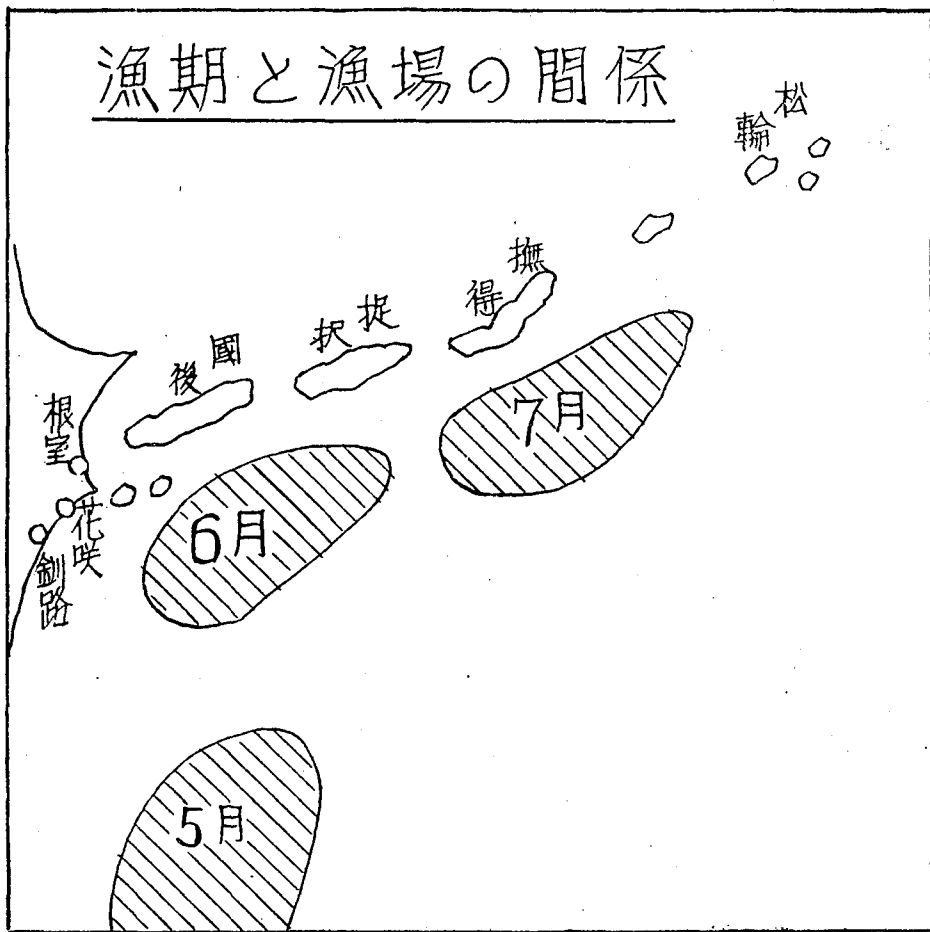
- (1) 船型を大きくして、二五〇四〇屯級とする。
- (2) 方探、魚探を装備する。このため県費一五〇万円を補助(三分一補助)する。
- (3) 先進地(岩手県宮古)の漁撈長及び熟練者を数人づつ乗船せしめる。
- (4) 組合自営のやり方を再検討する
- (5) 塩臈片口いわし五、〇〇〇貫を餌料として既に入手済である。
- (6) 四月中旬には出発、当初は宮古を基地として操業し、五月になれば魚群と共に北上して釧路を根拠地として七月まで操業する。
- (7) 八隻が出漁するが、その内一隻当りの收支計画は次のとおりである。ここで注意すべきは、漁獲物売上収入を三〇〇万円に見積っているが、これは極めて内輪の見積りであること。又支出の内に備船料四五万円が含まれ

てあるがこれは組合経営なるがため斯様な計画となるわけで、個人経営の場合は当然これは利益となつて来る。

福井県が昨年出漁に先立つて先進地を調査したときの資料から、御参事までに岩手県宮古の三〇屯級漁船の昭和三〇年における実績を前表に

示してみた。

これが、昭和三〇年における実績であるが、さきにも述べたやうに、昨三一年は四年ぶりの豊漁型であり殊に魚群が沿岸近くまで洄游したので、宮古における三〇屯級のもの最高七八〇万円、平均五〇〇万円を水揚げしたとのことである。諸経費を



大きつばに二〇〇万円とみれば一〇〇日足らずの間に約三〇〇〇万円乃至五〇〇〇万円の利益を上げたことなる。(五月) 釧路から花咲沖SE二〇〇渾水温五〇六度トキンラズが多く水温の上昇に伴いカラフトマスが多くなる。(六月) 花咲から色丹沖SE四〇〇五〇渾に接岸北上。(七月) 捉振、撫得E、SE四〇〇五〇渾水温七〇八度カラフトマスが多く一〇三の割これ以後は沖合洄游するた

昨年この出漁船団と同行した練習船雲龍丸によつて、この漁場附近の海況、漁況は勿論、漁具、漁法その他操業上の注意すべき色々の点を詳細に調査されており、これらを取纏めて、同県水産試験場から『北海道東岸におけるサケ・マス延縄漁業調査報告書』として発表されている。

同県の御好意で、その一部を寄贈されて私の手元にありますから、多少とも此の方面に興味をお持ちの方は御連絡下さればお知らせします。

以上のことは、福井県の一事例にしか過ぎませんが、協同組合の自営事業として新規事業を始める場合、或はこれに類した計画を企画するとき等に大いに役立つ貴重な資料と思えます。

本県においては、昨年但馬の中腰底びきの多角経営の一環として一時業界においても声がありました。が、国の許可関係（従来は自由漁業であったが昨年から大臣許可漁業となりました）の見透しが極めて悪く一応沙汰済みとなりました。

## インドネシア水産情報一号

最近、海外漁業進出の機運が昂つていゝが、果水産課では、客年来インドネシア神戸領事館と水産情報交換を行つていゝので、今後同領事館から提供された資料を「インドネシア水産情報」としての参考までに本誌に連載する。なお原文和訳の関係で読みづらい点もあるうが予め御諒解を得て置きたい。（水）

### 真珠採取業主要財源に

政府マルクの業者に一、一九〇万ルピーを供与

（ジャカルタ十二月二十日発）

政府は、国の重要な収入源と考えられるマルク水域の真珠採取業の経営を援助すると農務大臣代理 Sjeda Mahaban 氏は十九日語つた。

政府は過去三カ月間に優秀な成績を挙げた真珠採取会社 Terbit に三九〇万ルピー（一ルピーは三一円の資本を出資する計画をたてた。此の金額のうち第一回分として二九〇万

しかしながら、この漁業の有望なことは各地の状況からも十分察知できること、将来本県漁民の手によつて北洋のサケ、マスを漁獲する目的を各々とともに期待したいと思ひます。

（果水産課森本技師）

ルピーが支出される。現在、マルク水域で真珠採取業を営む会社はマルク、マカツサルにターチブ、ムチアラ、マルク、マリギの三社がある。従来、農務省はムチアラ・マルク社に四船を割り当てていたが、同社の過去二年間の水揚が真珠貝十屯に過ぎなかつたので、政府は、此処三カ月間に真珠貝七屯を水揚したターチブ社に出資することに決定したのである。

真珠採取業にたづさわるこれらの会社は広く機会を与える為、政府はムチアラ・マルク社を改組した。

同社は近く八〇〇万ルピーの出資を受けるだろう。

計画によれば、政府の持株は漸次各地域の採取業者に売り渡されることになつていゝ。

マルク水域に外国船が点在すると報告に關して、農務大臣代理 S、マーハバン氏は次のように語つた。インドネシアは国際航行法の束縛を受けていゝので此れ等の船舶に対して現在までの所、政府は、何等なし得ることができない。インドネシア水産業発展の為、現在、政府は、インドネシアの新しい領海を決定するについて諸外国と交渉することを目論んでいゝ。

最後に大臣は、私は、真珠採取の目的の為マルク水域に侵入した日本漁船があるとの報告の真実性を疑つていゝと語つた。本事業に用いられる漁船の大半は日本から買入れられたものであり、これら漁船の中には、今なお日本人技術者を雇用していゝものがある。

### 水産業東南アジアにて大 発展す

（クララ・ルンブル発）

東南アジアに於ける英植地、即ちマレイ連邦、シンガポール、セラワ

ク、ブルーネイ、及び北部ボルネオの水産業の可成の分野に亘つては、もはや後進国という語は通用しなくなつた。過去十年の間に偉大な発展があつたのである。いかにしてそうなつたか？マレイ連邦水産長官 D・W・メア氏に尋ねると、

何よりも第一によく訓練され、技術を身につけた担当者が必要なことである。この担当者の殆んどが国連食糧農業機構（F・A・O）とコロンボ計画の主催による訓練を受けていゝ。担当者達は種々の船舶、漁撈装置、研究所、工場で技術を身につけた。

完成された施策は、常に、漁業者自身の助力と協力を得たものである。この為には、全ゆる発展策における根本的要素の一は、それが漁民の経済的必要性と人間的欲求に直接連がり又、現実的でなければならぬからである。此れ等施策の全てについて、我国は又、熱帯での開發的な新しい施策における多くの商業關係の助力をも認めなければならぬ。

先づ漁船についていゝば、その動力化計画の遂行が必要であつた。運輸が経済的に取扱が容易であるように入進歩し、新式のディーゼル機関を取りつける等漁業者が本當に必要と

するような大小様々の実験船が多数建造された。

船型の詳細等はさておいて、一つの例をあげてみると、全く新型ディーゼル機関を装備し、新式改良漁網を使用する約三十隻の漁船をもつ或る船団は、一万屯以上の回游性コンシロ（註、インドネシアで多量に漁獲される主要魚族）を水揚した。

これは一九五四年九月から一九五四年二月までの六カ月間に水揚されたものであるが、さて、これらの漁獲物は全て氷詰めにされて高速度道路輸送によつて全マレイに配給されたのであるがこの魚は各地の市場に於いて一級品で一ポンド当り六ペンスの価値があつたのである。（註日本）の単位にして一貫当り約二五〇円）マレイでは、鮮魚は全て一級品の状態でないといけない。というのはマレイの主婦達は、家族の為に魚を買う場合、非常に品質を吟味するからである。

マレイでは、魚が主要食品であるにもかかはらず、多くの村落が遠隔地に又、幹線道路から離れている為に、主婦の要求を満すについて多くの問題がある。少量の魚を、鮮度を保たせて、しかも農民がたやすく買えるように安く、遠隔地に運ぶのに

は、簡単であつて効果的な保温容器が汎山作られなければならないことになる。

この容器は、なまこ板やアルミニウム合金で作られ、ガラスせん維、硬化ゴム、粉細コルクなどで断熱してある。そして、容器は、冷蔵魚を自転車のリヤカーの上やカヌーの中で日中、熱帯の太陽にさらされても二十四時間の間氷点下二・三度以内で保存できるものでなければならぬのである。

次に漁網であるが、昔からやつている網の保存法は、マングローヴの樹皮からとつた液に網を浸すやり方である。この方法は、効果もあり、安くて、やり方が簡単であるが、或る種のトワインについては、熱帯の海では、銅有機化合物か銅化合物の油状溶液の方がもつと効果的であることが判つた。

、実地に証明することによつて、我々は此の方法が適當であることを漁業者に示してみせたので、漁業者はこれからは、今まで以上に網を永持させるようになるでしょう。

我々は魚だけでなく他の海の副産物のことも考えている。東南アジアで我々は、ブランドン一或る時期に或る場所で極めて多量に発生する

甲殻類の一種からペーストを作つている。

ブランドンを遠過網で採集し、塩漬にして醗酵させてから、電動又はディーゼル機関で動くミンチに二・三回かける。こうしてできたものは、丁度濃い紫色をしたチーズのようなものである。これがメーカーの商標入プラスチック容器に入れられ、滋養豊富で美味なベラチャンと名で売られている。

此のベラチャンは、勿論新しいものではないが、製法が改良され、衛生的なポリエチレン容器は、製品の鮮度と、湿度を保つ様になつた。

我々が、熱帯産魚類の急速冷凍法を完成した結果、保管が適當であれば、活魚と何等変る所なく、六カ月経つた後でさえマレイの主婦のよく利く眼や舌を満足させることができようになつた。

マレイ産の魚は、今日では缶詰にされるようになり、多くのアジア人に非常に賞味される美味しいカレーは、遠からず世界中の市場に現われるようになるだろう。しかし、香味料によるブリキの化学的腐蝕に關連した問題については、化学者と工業技術者との協力した技術が必要である。

世界の各地では、古い魚から魚油がとられているが、マレイに於いては、我々は、今、魚糧を作る目的で漁獲の実験をしている。

我々が目的としているのは、鶏や豚の餌料野菜の肥料、菌のような高級花キの肥料としての魚糧、最終的には、香辛料を作る際に、調味料や香味料に混ぜ、又ビスケットや、シチューに混ぜ合わせる人間の食料としての魚糧である。

しかし乍ら、これらの全てを行うに當つて我々は、沿岸のことに眼を向け、鮮魚をさし當つてできる限り利用することに留意しなければならぬ。一方、住民に蛋白を供給し、しかも安くなければならぬことは明らかでないことである。

さて、特定の池で魚を飼ひ養う養殖業についてであるが、池で魚を飼ひ養うのはアジアでは、その歴史と共に古くから行われている。魚が内陸地帯で思うがままに利用できるという点で魅力ある方法である。

何世紀にも亘つて行われて来、此処数年の間我々が行つて来ているこれら研究は、現在の世界が人口の稠密な地域において必要とする食料の供給を増加せんが為のものである。



# 林崎漁協

―組合員の冬期就労斡旋に乗出す。―

明石市、林崎漁業協同組合では、漁家収入の途絶える冬の閉漁期対策として毎年組合員の就労斡旋に当たっているが、この冬は、職安及び市内の事業所と団体交渉を行い予期以上の成果を挙げており、冬枯れ対策に共通の悩みを持つ県下各漁協組に大きなしさを与えている。

客年十二月二十四日現在の就労状

職名	人数	日当	職名	人数	日当	職名	人数	日当
三菱	五名		日本工員	十七名	四〇〇円	大坂	一名	
アンコ	二七名	五〇〇円	明石	六名		ゴム	一名	
尼崎	六名	見当	焼酎	二名		会社	一名	
鉄キン	六名		仲仕	二名		明石	一名	
材箱屋	三名		電氣	一名		アメヤ	一名	
みそや	一名		明石	一名		ヒウム	九名	
(通) 明石	一名		川崎	八名		キシロ	一名	
浜人夫	一名		造船	八名		金船	二名	
天金	二名		工夫	九名	三〇〇円	合計	二五二名	
(通) 神戸	十四名	六〇〇円	船乗	一名				
明石	一名		下請	一名				
カマボコ	一名		大阪ガス	一七名	三五〇円			
川崎	三名		左官	二名				
藤原組	三名		大業	三名				
川崎	四名							

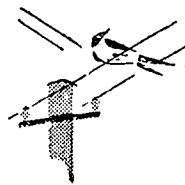
況は別表のとおりであるが、これについて同組合の増本理事は、

「十一月から、いかなご漁の始まる半年近い間、なんとか他に職を求めないと漁業者は生活できない、組合員の中には、これまでも職安に申し出たり、つてを頼つて阪神間の事業所に働きに行く者もあり、側面的に協力して来たが、今年は組合が直接関係方面と折衝し全就労者の半分以上をお世話して予期以上の成績を挙げる事ができた。これは、阪神地域と隣接していること、それに神

武以来の好況など環境、条件に恵まれていたことも忘れてはならない。淡路の西浦などでは就労希望者があつてもうちのように簡単に行かないと思う、日水、大洋など大会社への就労斡旋とともに果や漁連がもつと積極的に動いて欲しい」と語つている。

なお、就労者の年齢は二十才、三十才台の者が多いが中には五十才以上の者もあり、事業所でもよくやつてくれると評判が良く、組合が中に入つているので信用も高く、臨時雇から常雇に登用される者もあり、将来の見通しは非常に明るいうである。

今年、組合員子弟の就職斡旋にも乗出すでに新中卒二十二名を職安とタイアップして新しい職場に送り出そうと奔走している。組合と職安が連繫して、閑漁期に右の実績を挙げている。



ラヂオ神戸

農漁村の番組

朝6時10分〜25分まで

2月20日 漁船機関の話し

2月27日 イカナゴ加工管理について

3月6日 第三回水産業改良普及発表全国大会

3月13日 漁業協同組合の経営について

3月20日 イカナゴの初漁もよう

3月27日 イカナゴを食べましよう

伊 沢 技師

堺 技師

坂井 技師

## 御投稿御願ひ

組合員の皆様方の機関紙として発足しました本号で第七号になりました。沿岸漁業多難の折色々皆様方の御意見を發表して戴きお互に参考にし難時打開の一端にでもなればと思ひますので、御忌憚の無い御意見をどしどし御投稿下さいませよう御願ひ申し上げます。



### 神戸市漁業協同組合婦 人部連合会結成さる

駒ヶ林漁協、西須磨漁協、東須磨漁協の三組合でもつて神戸市漁協組合婦人部連合会の結成式が二月六日午後一時より駒ヶ林漁協事務所二階で行われた。議長に駒ヶ林漁協婦人部長の前田さんがなり議事を進めて行き午後三時頃盛會裡に終了した。なお連合会役員には左記の方が決定した。

会長 前田 ふみ(駒ヶ林漁協)  
副会長 山田山鶴子(東須磨漁協)  
友江としえ(西須磨漁協)



會計 友光喜代子(駒ヶ林漁協)

青木かず多(西須磨漁協)

### 県下漁業協同組合長大 会の日時決る

二月廿五日午前十時より県立水産会館四階で第五回県下漁業協同組合長大会が開催される。各海区よりの提案を審議検討し今後の発展策を講ずる。又同日東京より庄司氏を招いて漁業組合の経営に關しての講演を行つてもう予定である。

### 沼島漁協組合員突風の 為遭難死亡す

去る二月三日沼島漁協組合員細川由雄(卅三)宗原金藏(六一)本庄貞治(四五)の三氏は沼島南東海上で操業中突風の為船が顛覆したが細川、本庄の両氏は岸に泳ぎ帰えつた所、一人沖で宗原氏が見えたので細川氏は宗原氏を助け為再び泳いで沖に向つたが寒さと被勞の為泳ぎ帰へる事が出来ず遂に両氏とも死亡された。此の報に接した内海漁連では直ちに傘下各漁協に連絡し義捐金の募集を行っている。

### 第三回水産業改良普及 発表全国大会発表者 日時決る

廿七日午前九時  
「蚶具桁細の改良と操業改良」  
飯屋四日クラブ 武田玉之(22)

第三回全国大会に出場する本県代表者の発表日時及び議題は次の通りである。

廿七日午前九時廿五日  
「鯉漕釣漁業の改良について」  
柴山漁村青の 大西 巖(23)

## 聞きある記

### 「イカナゴ漁況の巻」

— 今年も良くても平年並か —

「春告魚」と書いてニシンと読む習慣が北の国にあるが、県下、瀬戸内海側においては、同じく「春告魚」と書いて、これをイカナゴと読んでも一向さしつかえがないほど、それは近づいてくる太陽の気配を敏感に覺つて、いち早く姿を見せる魚である。— イカナゴは「玉筋魚」とも「小女子」とも書き、その字のように、いとも優しき姿を誇つているがこれはまた、関係の漁業者にとつて、非常に重要な魚である。というのは、さむざむとした冬の閑漁期に食いこんだ漁家の暮しを、明るく立直してくれるものなのであつて、かりにイワシを主演男優とすれば、イカナゴはさしずめ主演女優とでもいえる内海漁業のタテ役者だ。

ところが、今年のイカナゴ漁は平年並かそれ以下」とのニュースが新聞に書かれ、また人の口に伝えられてきた。コワ一大事である。早速ペンを担いでコトの真相をノゾいて見ることにした。何しろ急いで聞きこみをしたので、ペンがつい走りすぎた点はゴカンペンを願いたい。

(漫坊)

大阪湾から播磨灘へとぬけるくびれた部分、それは昔から名高い景勝の地であるが、ここ明石港の西側港口に立つて、近々と迫る美しい淡路島と、青い海峡に浮ぶ幻想的な真帆片帆の景観は、また一しおの眺めではあるのだけれど、今日はそれどころではない。とにかくイカナゴ姫のようすをたしかめねばならぬ責任がある。

まず門に入る。明石西側港口イカナゴ門という、ハハン水産試験場だナとお気付きのことだろう。

然り、まさしく水産試験場の正門である。入つて、つき当りが場長室、顔を出すと、井上場長は快よく応じてくれる。

「ところでねえ、私がこの試験場に初めて着任したときに『玉筋魚』と書いてナンテ読むのか見当がつかなかつたね。チョット読めないよイカナゴとは。人に聞くのもシヤクだから字引をひいたものさ。」

場長の声はいつ聞いても柔かく温かみがある。タコの研究では全国的に有名だが、といつてタコにはあまり似ていない。『少し似てた方が面白いのに』とか『こんな人柄だつたら女性にモテるやろな』などと良からぬコトを考えたたん、井上場長

がニコツと笑つたので思わずドキリとしたが、

「イカナゴという名の起りはね」ときたのでヤレヤレである。

「遠い源平の頃、平清盛が兵庫は福原の里へ都を移したときのこと、つきそいの殿上人が、或日食べた魚の美味に驚いて、『これはいかな魚（こ）であるか？』と漁夫に質問した。それがいつのまにかイカナゴ（ゴ）となつた：とは伝説によるものなんだよ。君」

「今年漁況は？」

と聞いたとき、ガラリと戸が開いて、菅原課長、堺技師、浜田技師といつた漁業課の精鋭が入つてきた。サテそれからが問題である。

「今年のイカナゴ漁の予想は？」

「今のところ良くて半年並という予想ですね」

やはり噂のとおりにてありつるよ

「昨年、一昨年と三百万貫を越えているのに、今年はアキませんか」

「いまのところはですヨ」と、ナカナカ用心深い返事である。詳しく聞いてみると、

——イカナゴの産卵は、ほぼ十一月の下旬から十二月上旬にかけて行われる。そして産卵に適した温度は二度から四度くらいが最も良いようだ。そこで今年の水温を見てみると、十一月の平均水温は一八・四度（昨年一八・一度）で、いつもより〇・三度高くなつていたが、十二月には急に冷えこんで、一一・二度（昨年一三・七度）と、いつもより

二・五度も低くなつてしまつた。なお十二月の水温を更にこまかく見ると、上旬が一三・九度、中旬が一〇・七度、下旬九・三度というようになつており、イカナゴが卵を産むのに最も適しているのは、上旬から中旬の間であると考えられるわけだ。

また雨の量を調べるとこれは半年の三分の一しか降つていないので、陸から流れこむ栄養分のある水も少いことになる。従つてプラントンの発生も余り多くないようである。

だから、まだ十分に栄養の行とどいていない間に、急に水温が低くなつて、産卵期を迎えたことにならぬといえよう。ために産卵状態はとても悪かつたと考えられる。

もちろんこれは全部が全部というわけではなく、大部分のものの推定だ。

さて、次に海洋調査の結果をみると、明石を中心として、播磨灘の鹿の瀬から須磨沖へかけての海洋調査を昨年と同じ方法で、十二月下旬より一月上旬に実施したところ、十二月には、網（稚魚を採る網）を三回曳いて一匹の割合しか採れなかつた

——昨年は一回で一匹だから今年は大ぶんわるいことになる。

一月上旬では一回で三匹の割合で採れた——昨年は同じ時期に一回約二〇匹であつたので、これもよくな

い。

採取されたイカナゴの稚魚の大きさは、体長四ミリから四ミリ半くらいで、昨年とほぼ同じだが、

昨年は産卵が十二月中旬から下旬へかけて行われたのに比べ、今年はそのよりやや早い十二月上旬から中旬に卵が産まれたものと見られるので、生長のようすも悪いように考えられる。中には年を起して産卵されたものもあるが。

わかり易く説明してくれる堺技師の表情は、まことに真剣である。こ

うい具合に聞くと血のメグリの少しくノロい漫坊でもよくわかる。

「だいたいシンコはわかりました

が、フルセはどうですか？」

「フルセは、昨年度産まれたものが多かつたために、ほぼ平年並の漁は期待できますね。しかしそれもさき程話しましたように餌となるプラシントンの量が少いので、発育状態はやや悪いようです」

「ハハア、するとアブラガノるのが遅れますな」

「そういうことです」

「だからね、フルセの漁獲はなるべく遅らせた方がよいのですがね、これは製造課でも、市場の価格や魚体の栄養を調べて、同じことを発表してきますよ」

「なるほど、二月初旬のフルセは全くマズいですからね、あれが値段を下げてしまうようですナ。しかしシンコは見込が悪いですね。」

「けど一月になつてから雨もわずかですが降りましたし、上旬の気温も九・五度で平年並に回復してきましたから、今後の気象状態が順調に進むと、産まれたものが少くても、それが全部無事に育ちますと、平年並くらいの漁獲も期待されますよ」

総ては、今後の天候にかかつてい

るようだ。

× × ×

試験場でイカナゴの調査に乗り出

してから、すでに十数年の才月が流れている。

毎年毎年、水温を調べ、網をひきこまかいことを一年一年と積み上げていくことは仲々大変である。

「イカナゴは泥からワクという人がありましてネ。卵からかえつて一週間すぎたボーフラのような稚魚を見て貰つて、ようやく納得したこともありましたよ」

これがそうです。と渡されたガラスびんを、しきりにノゾいてみるが一向に見えない。菅原課長がニヤニヤ笑いながら、

「振つてみなさいや」

あわててクルクル振つて見ると、ナルホド、下の方からスーと浮いてきたのは、本当にボーフラをつくりの四ミリくらいの稚魚である。

「これですか」

見つめると、明るい光があたるガ

ラ

ラスびんのなかで、稚魚はたよりな

げにユラユラ下の方へ沈んでいく。

「フルセガシンコを食べるとい

う人がありますが、やはり少しは食べ

るようです」

ついでにプランクトンを拡大鏡で

見せて貰つたが、これはまたヘンな

形をした生物であつた。

「稚魚より大きいプランクトンが



「漁獲することがまず大切ですが、とるだけで漁業はなり立ちませんから、たとえばとれすぎて値段が下りますと、一体何をしているかわかりませんよ。」

と、井上場長にいわれて、先刻通

つてきた小売市場で、イカナゴが鮮

魚で百匁二十円であつたのをフと思

い浮べた。

「とにかく、加工、販売の問題も

充分考えねばダメですな。製造課で

昨年度の販売調査をやりましたが、

イカナゴ生で、一貫匁十五円なんて

のは、食品の中で珍しいものの一

つですな」

そうだ、全くそのとおりである。

昔の方法をいつまでもくり返してい

る現在の漁業は、あらゆる点で改革

の必要があるだろう。部屋の空気が

一瞬静まつたのは、誰しも思ひは同

じであつたかもしれない。『大漁貧

乏』とはあまりにもナサケない言葉

であることヨ。

製造課で調べているというイカナ

ゴ価格の問題について、また暇を見

てゆつくり伺いたいものである。

× × ×

日も暮れかけたので、礼をのべて

門を出ると、黄ばんだ夕暮の光線が

試験場のまわりをあざやかに照らし

ていた。

× × ×

みんなの信漁連 みんなで利用

## 兵庫県信用漁業協同組合連合会

会 長 島 田 文 治 郎

本 部 兵庫県立水産会館内 直通電話㊦0193  
但馬支所 香住町字中浜頭 香住125

日用品のお取次も

## 兵庫県内海漁業協同組合連合会

会 長 三 浦 清 太 郎

本 部 兵庫県立水産会館内 直通電話㊦3424—5  
明石油槽所 明石市船町 明石3207  
富島油槽所 北淡町富島 富島 66  
仮屋出張所 淡路町仮屋 仮屋 59

購買品は系統利用

## 但馬漁業協同組合連合会

会 長 西 上 重 次

城崎郡香住町香住 電話香住154

神戸市兵庫区  
新在家町

兵庫県立水産会館

電㊦8301(事務)  
電㊦9563(宿泊)